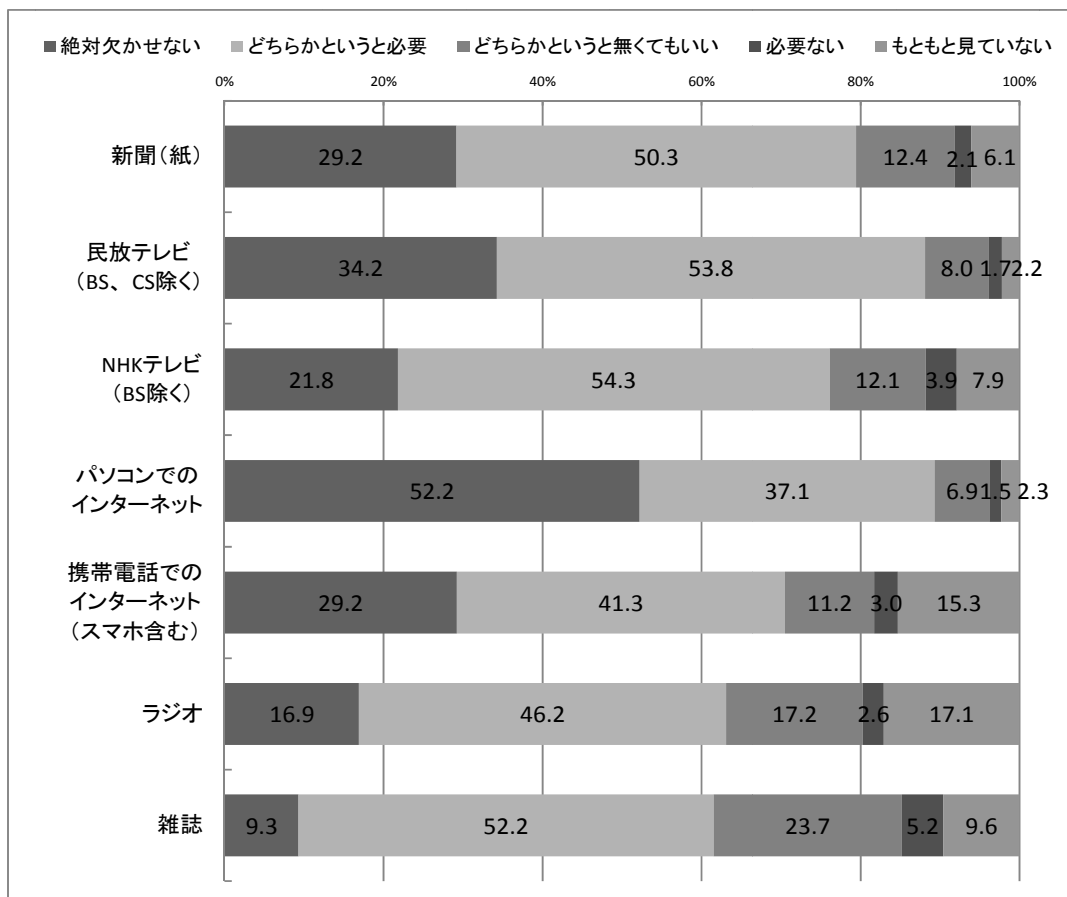


“情報源として”欠かせないものですか？



その情報源は必要ですか？

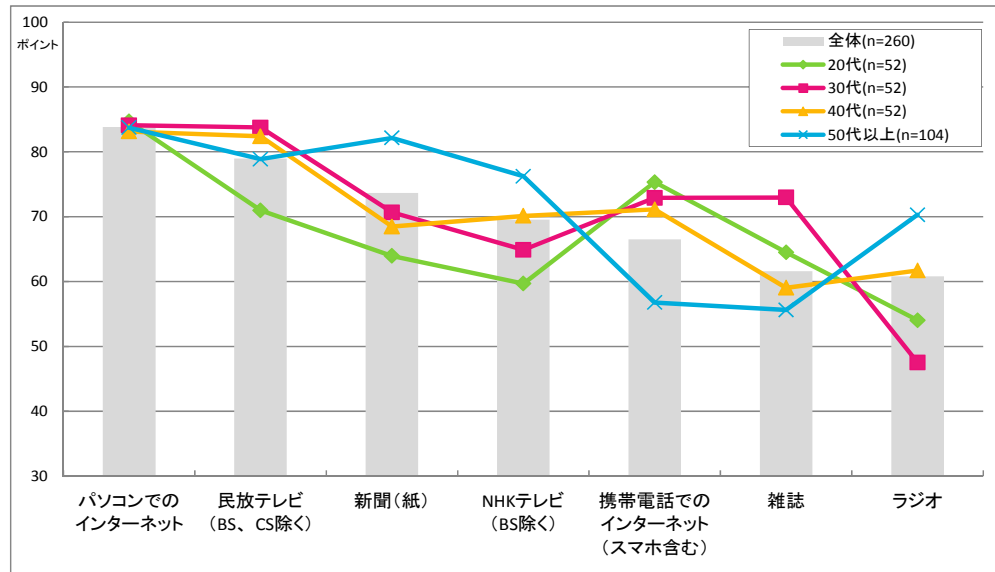
「絶対〜」と強く求められたのは、順に「パソコンでのインターネット」52.2%、「民放テレビ(BS、CS 除く)」34.2%、「新聞(紙)」29.2%、「携帯電話でのインターネット」29.2%。

「絶対欠かせない」「どちらかという必要」を合わせた割合では、多い順に「パソコンでのインターネット」89.3%、「民放テレビ(BS、CS 除く)」88.0%、「新聞(紙)」79.5%、「NHK テレビ(BS、除く)」76.1% などとなっています。

本調査はインターネット調査であることを留意しなければなりません。各メディアの評価、メディアに対する県民の意識を端的に知ることが出来ました。また、これらの結果には、岡山県民のライフスタイルの基準——質、量、効率性、経済性、基本的価値観なども表れていると考えられます。

【調査概要】 調査時期：2012年3月23日(金)～3月29日(木) 調査対象：岡山県在住の男女260名 ※社会人のみ 調査方法：インターネット調査 ◎PCユーザー50.0%、Mobileユーザー50.0% ◎男性50.0%、女性50.0% ◎20代20.0%、30代20.0%、40代20.0%、50代以上40.0% ◎岡山市40.3%、倉敷市21.9%、その他県内37.8%

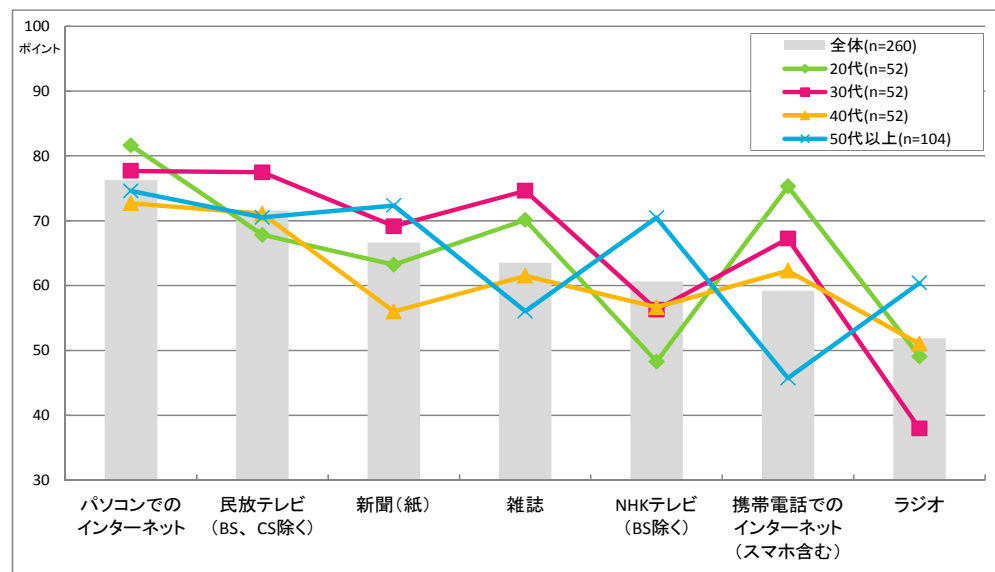
【必要度】 “情報源として” 欠かせないものですか？



※5段階評価のそれぞれを(+1)～(0)で点数化し、この点数に各回答区分の構成比(%)を乗じ、その結果を合計して算出。

第1位の「パソコンでのインターネット」以外は年代差が見られます。第2位の「民放テレビ」は30代・40代が高く、さらに男女別でみると30代女性が最も高くなっており、唯一「パソコン～」の全体値を上回っています。第3位の「新聞」と第4位の「NHK」は50代以上が高く、この年代における男女差は見られません。第5位の「携帯電話でのインターネット」は20代・30代が高く、こちらもまたこの年代における男女差は見られませんでした。

【面白度】 それらの情報は面白いですか？楽しいですか？



面白度を必要度と比較してみると、順位を上げているのは「雑誌」のみ。「雑誌」は不要の割合が最も多かったメディアでしたが、と同時に、純粋に面白い・楽しいから見ているメディアであることもわかります。

また、最も年代差が大きいのは「携帯電話でのインターネット」、どの年代においても女性のほうが高いのは「新聞(紙)」、といった結果などが見られました。

この件に関するお問い合わせ先

協同組合 岡山情報文化研究所 / 原内

〒700-0824 岡山市北区内山下1-3-1

電話 086-225-8181

<http://www.vis-a-vis.co.jp/data/contact/index.php>